

特に注意していただきたいこと

お客様に事故のないよう、施工前に、必ずこの説明書をよくお読みのうえ正しく施工してください。

用語および記号の説明

- ⚠ **警告** 守らないと、重傷を負うことがあります。
- ⚠ **注意** 守らないと、ケガをしたり、家財に損害を与えることがあります。
- ⊘ 「禁止」「してはいけません。」
- Ⓜ 「遵守」「指示通りしてください。」
- ⊘ 「風呂、シャワーなどの水場での使用禁止」

注意

水のかかる場所や表面に水滴が生じるような湿気の多い場所では、暖房便座、凍結防止ヒーターや電磁バルブ等の電気器具は設置しないでください。  
電磁バルブが故障したり、乾電池が液漏れする恐れがあります。

便器の汚水配管は、必ず便槽に接続してください。

電気配線は、必ず専門の電気工事店で行ってください。  
資格がない人が電気工事をするのは法的に認められていません。

この施工説明書以外の改造はしないでください。  
故障や漏水の原因となります。

施工後、便器や給排水配管からの漏水がないことを点検してください。  
漏水すると、床が水浸しになり家財を濡らす原因となります。

凍結の恐れのあるときは、注意してください。  
室内暖房など適切な処理を行ってください。

配管上の注意事項

- 使用水道圧：0.2~0.7MPa  
この範囲外で使用すると止水不良の原因となります。  
0.5MPa以上ある場合、ウォーターハンマーが出やすいため、オプション部品の減圧弁(AP-570)を止水栓に取り付けてください。
- 水道配管内の砂やゴミは取り除いてください。  
バルブの止水不良の原因となります。
- 水道配管は、しっかり固定してください。  
水撃作用(ウォーターハンマー)の原因となります。
- 床フランジと汚水配管の間は確実にシールしてください。  
臭気漏れの原因となります。
- 汚水管(導入横引き管)は、長さ1.5m以内、勾配30~40度以上を確保してください。
- 配管の接合部は、確実に接着し十分な耐久性と気密性を確保してください。
- 汚水管(導入管)に使用する継手は、汚物の流下に支障のない形状、構造を有するものを使用してください。  
段差で汚物が引っ掛かるような継手は、使用しないでください。  
横引き管途中には、絶対にエルボを使用しないでください。
- 臭突を設置する場合は、風量70m³/h以下のものを使用してください。
- 配管工事完了後、約10分の水を流して配管接合部からの漏水がないかを確認してください。

梱包内容の確認

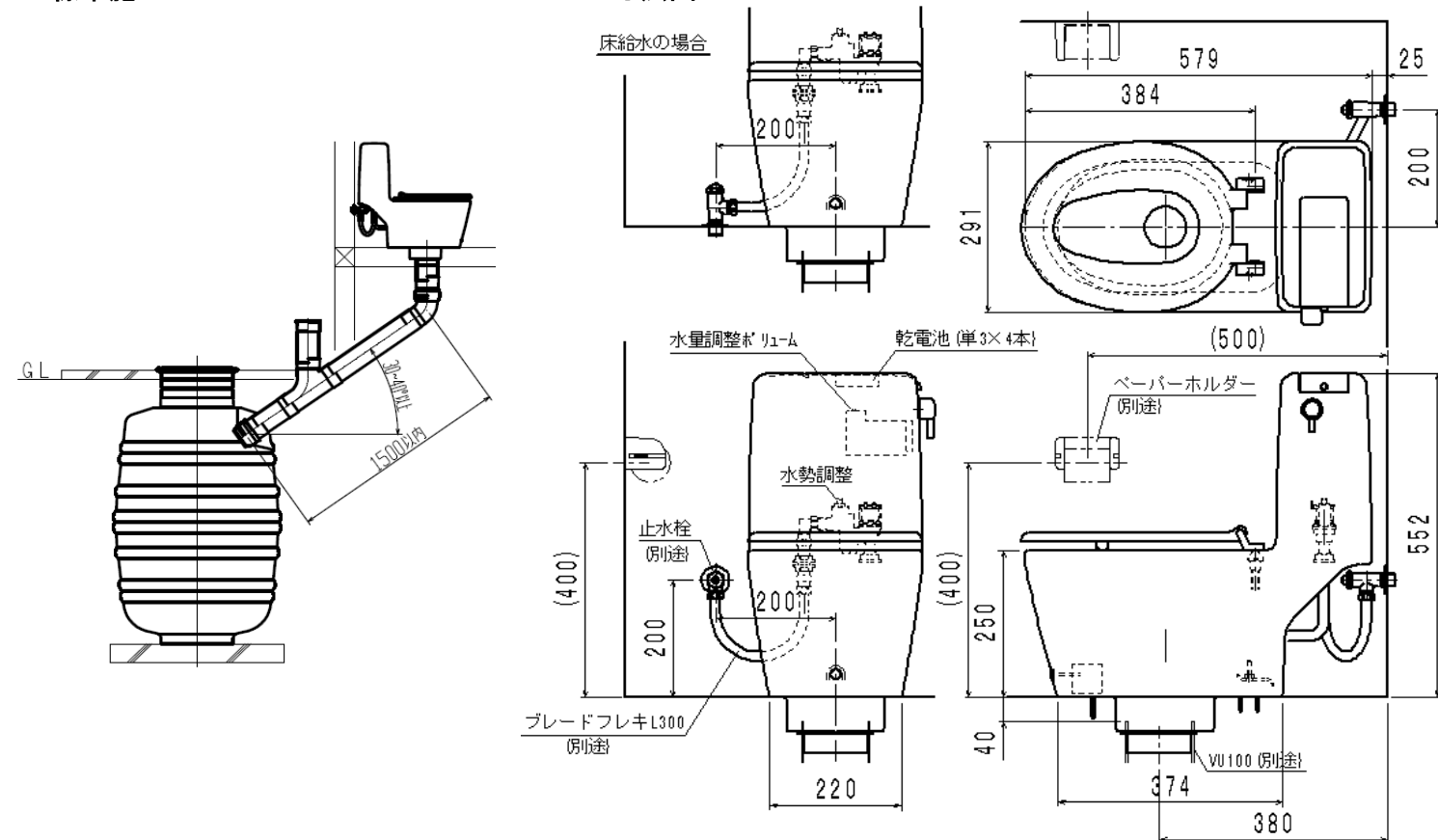
品名	数	品名	数
① タンク一体便器	1	⑤ カールプラグ8×40	6
② 便座	1	⑥ サラ木ねじM4×50	1
③ フランジ付き施工枠	1	⑦ 座金	1
④ 木ねじM5×40	6	⑧ キャップ	1

別途に用意していただくもの

シールテープ 止水栓 ブレードフレキ管L300 塩ビ用接着剤 コーキング材 ペーパーホルダー

標準施工

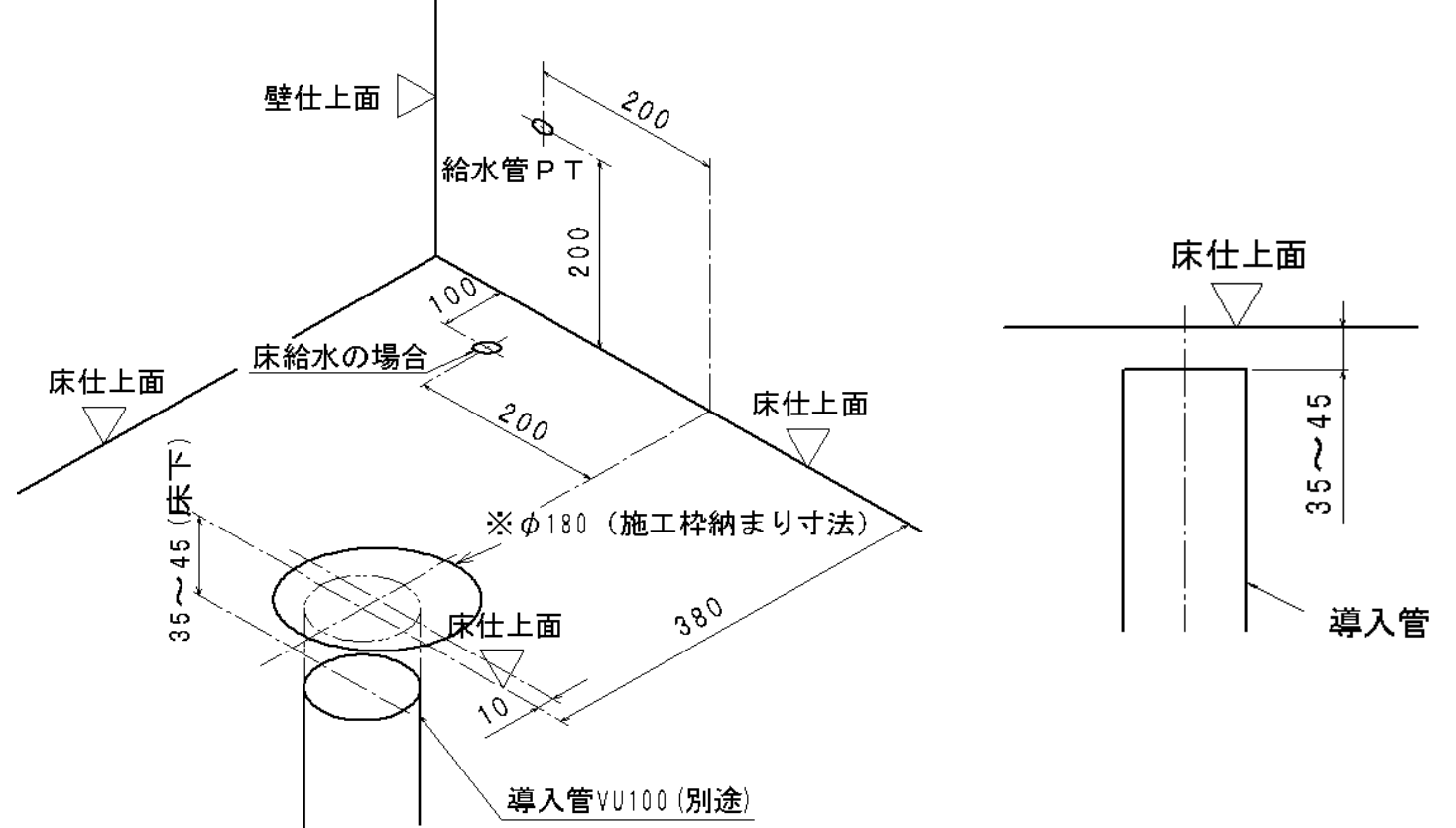
寸法図



施工の手順

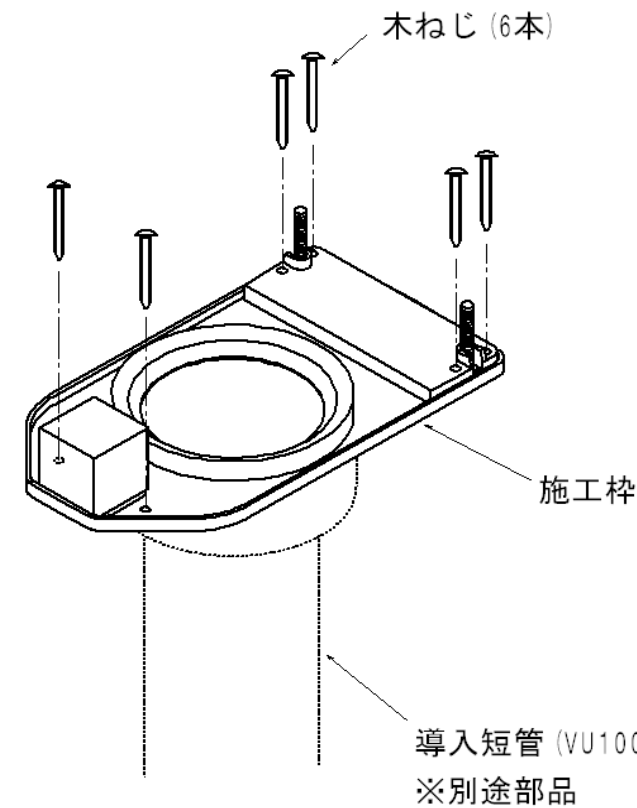
1 給排水管の位置決め

下図に従って、給排水管の位置を決めてください。

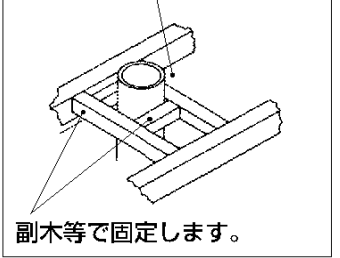


2 施工枠の取付

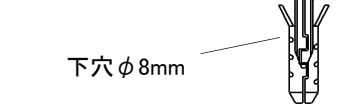
施工枠の導入短管差込部にたっぷりコーキング材を塗って導入短管と接続してください。  
木ねじ6本で施工枠を床に取り付けてください。



立ち上がり、真直に立ち上げる。斜めに取り付くと臭気漏れの原因となります。



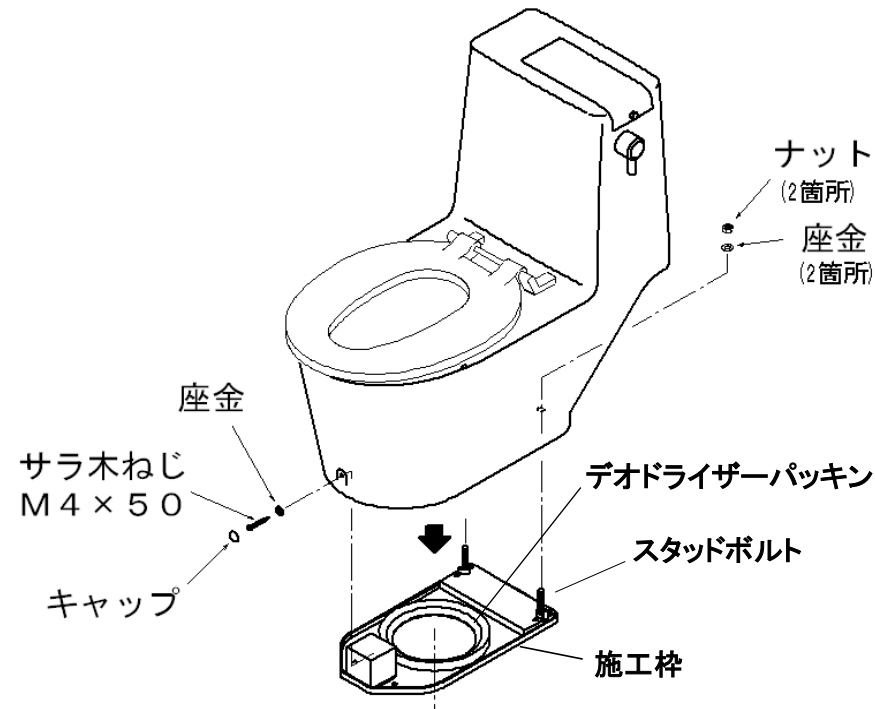
コンクリート床の場合  
同梱のプラグ8×40をご使用ください。



【注意】  
施工枠のフランジと導入短管の間は、確実にコーキングしてください。  
臭気漏れの原因となります。

### 3 便器の据付

スタッドボルトと便器の穴を合わせながら、施工枠に便器を差し込んでください。  
便器が確実に据え付けられてことを確認してから座金を入れ、ナットを締め付けてください。



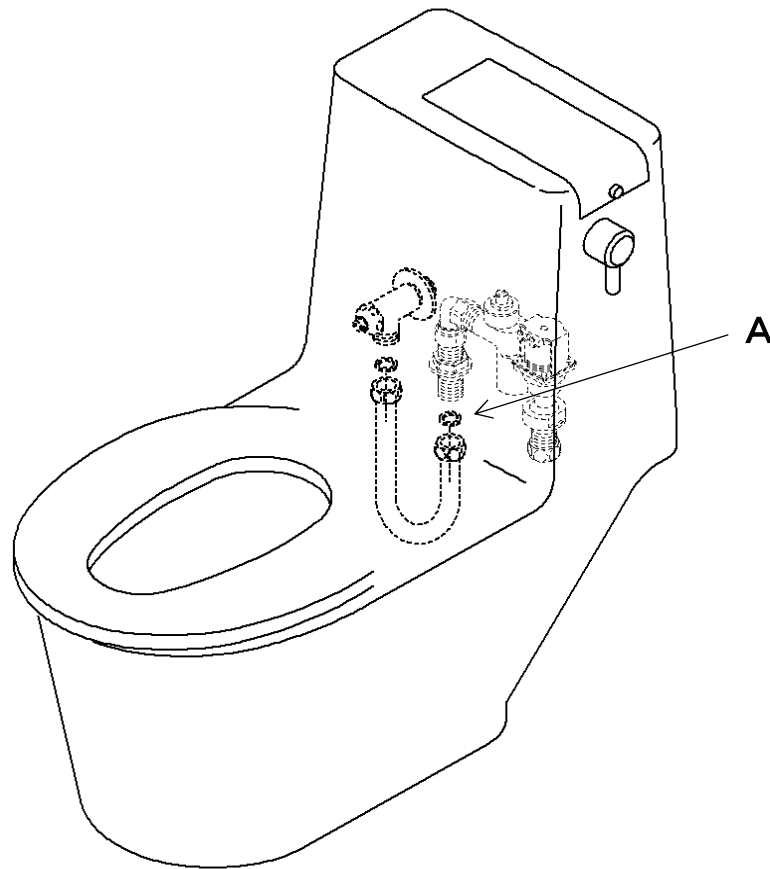
**【注意】**

- ・ベース本体を確実にデオドライザーパッキンに差し込んでください。臭気漏れや便器のガタツキの原因となります。
- ・ベース本体とデオドライザーパッキンを接着したり、便器をモルタル等で埋め込んだりしないでください。メンテナンスができなくなります。
- ・ナットの締め過ぎに注意してください。便器が割れる恐れがあります。

※A側の接続は便器の据付前に行ってください。  
便器据付後は袋ナットが締め難くなります。

### 4 給水管の接続

止水栓と便器をブレードフレキ管(L300)で接続してください。



**【注意】**

給水管を接続する前に止水栓からの水をバケツ等で受け、十分に水道配管内の汚れやゴミを取り除いてから接続してください。  
汚れた水や赤サビた水が出た場合、水が止まらない状態になることがあります。  
これは、電磁バルブ内部の小穴のゴミ詰りが原因です。分解して小穴の清掃が必要となります。

**【注意】**

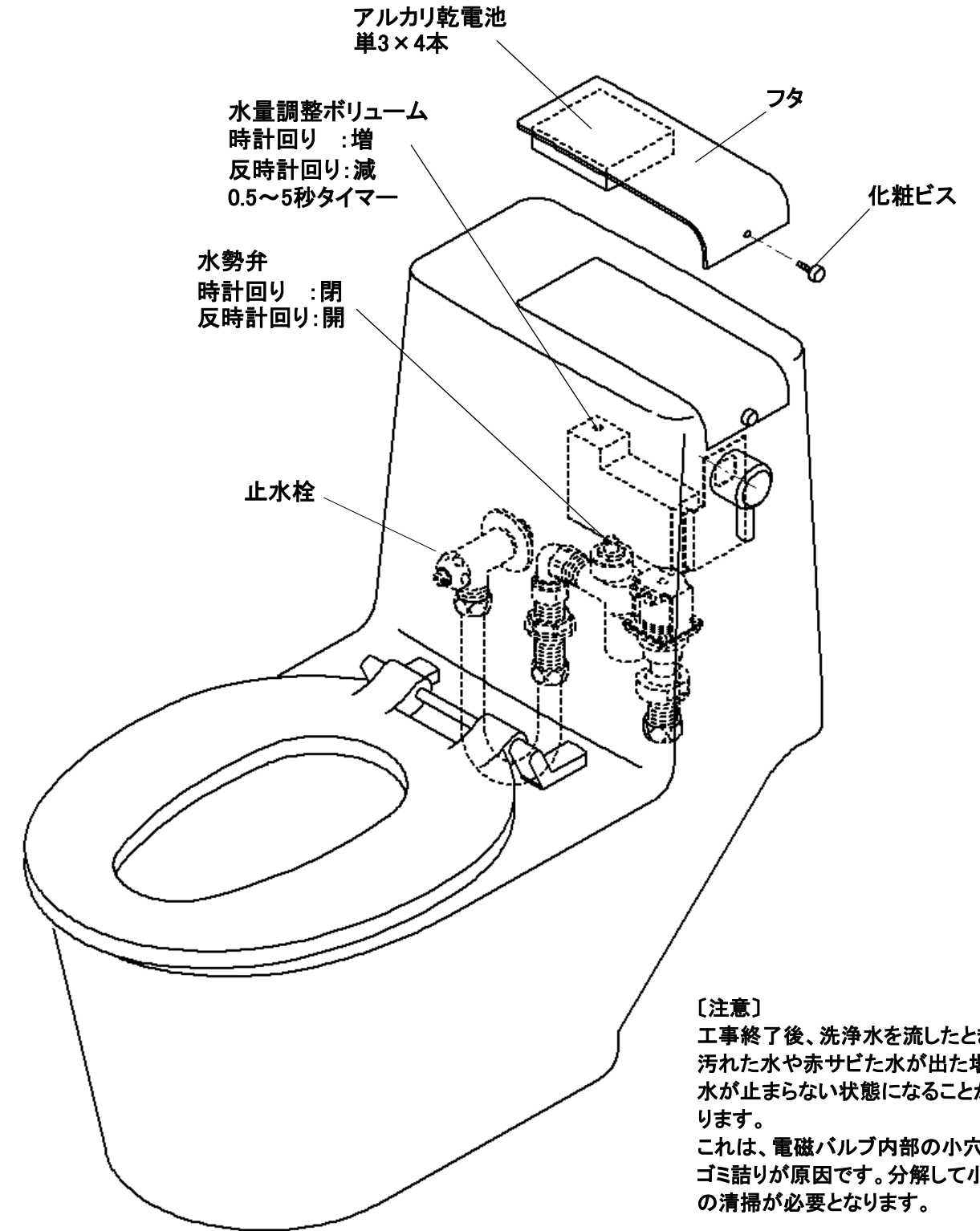
- ・フレキ管はできる限り長さの短いブレードフレキ管を使用してください。ウォーターハンマーの原因となります。
- ・水圧が0.5MPa以上の場所等ではウォーターハンマーが発生しやすいため、オプション部品の減圧弁(AP-570)を止水栓に取り付けてください。

### 5 水量・水勢の調節及び点検

化粧ビスを外してフタを開け、マイナスドライバーで水量と水勢の調節をしてください。  
レバーハンドルを約90度回転すると、電磁バルブのボタンを押して洗浄水が流れます。

- 洗浄水を流して
  - ①フラッパーの開閉状態
  - ②便器への洗浄水の流れ状態
  - ③各部の漏水の有無

- ウォーターハンマーが発生する場合は、いずれかの処置を行ってください。
  - ①水道配管の固定を増してしっかり固定する。
  - ②便器の洗浄に影響のない程度に水勢弁を絞る。



**【注意】**  
工事終了後、洗浄水を流したとき、汚れた水や赤サビた水が出た場合、水が止まらない状態になることがあります。  
これは、電磁バルブ内部の小穴のゴミ詰りが原因です。分解して小穴の清掃が必要となります。